

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
小児科学		必修 (理.作) 選択 (福)	1	2	前期 (前半)
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
小林 千尋	講師控室	kyoumu		Teams 授業中に対応	
授業の目的・概要	小児の成長・発達および小児の病態を理解し、こどもと保護者への支援に活かすことを目的とする。事前に講義資料を掲示し、遠隔授業で基礎知識を説明したのちに練習問題の演習・解説を行う。遠隔授業を行う。メディアを利用した意見交換やフィードバックにより確実な理解につなげる。				
学習上の助言	丸暗記ではなく理解するように努めること。				
教科書	指定しない				
参考書	系統看護学講座専門分野 II 小児臨床看護各論/著:奈良間美保/医学書院				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	成長・発達が順調なのか判断できる。			PT(3) OT(2)	
②	患者の病態を把握できる。			PT(3) OT(2)	
③	患者の安全に配慮できる。症状の悪化にすぐに気づくことができる。			PT(3) OT(2)	
④	患者の特性に応じた関わりができる。			PT(3) OT(2)	
⑤	他の医療スタッフと意思疎通が行える。			PT(4) OT(3)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	呼吸器 (気管支喘息、肺炎など) フィードバック：授業時間内 意見交換の機会：授業時間内	放送授業	講義資料の復習	3.75	
2	循環器 (先天性心疾患など) フィードバック：授業時間内 意見交換の機会：授業時間内	放送授業	講義資料の復習	3.75	
3	新生児 (新生児の生理と病態) フィードバック：授業時間内 意見交換の機会：授業時間内	放送授業	講義資料の復習	3.75	
4	血液 (白血病)、消化器 (胃腸炎、虫垂炎など) フィードバック：授業時間内 意見交換の機会：授業時間内	放送授業	講義資料の復習	3.75	
5	神経 (てんかん、発達障害、重症心身障害児など) フィードバック：授業時間内 意見交換の機会：授業時間内	放送授業	講義資料の復習	3.75	
6	遺伝子・染色体異常 (ダウン症候群など) フィードバック：授業時間内 意見交換の機会：授業時間内	放送授業	講義資料の復習	3.75	
7	成長・発達、筋ジストロフィー フィードバック：授業時間内 意見交換の機会：授業時間内	放送授業	講義資料の復習	3.75	
8	内分泌・代謝 (思春期、1型糖尿病など) フィードバック：授業時間内 意見交換の機会：授業時間内	放送授業	講義資料の復習	3.75	
試	定期試験、解説と学習のまとめ 達成度評価・評価のポイント参照				

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	20	0	0	0	0	20
	コミュニケーション力	10	0	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	10	0	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	客観問題および説明問題を出題する。 読み手に伝わるような記述を心がけること。				試験の直後に解説と学習のまとめを行う
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>教員の実務経験：小児科医として大学病院、市中病院、入所施設に勤務</p> <p>実践的授業の内容：実際の小児科診療でよく遭遇する問題とその対応（成長・発達の評価、症状悪化の判断、安全確保、治療・療育・支援を含む）</p> <p>Teams を使って遠隔授業を行う。事前に講義資料をダウンロードし、資料を読みながら動画を視聴すること。通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。適宜メモをとること。質問がある場合はメールすること。</p> <p>今後、再びシラバスが改訂される可能性がある。</p>							